

平成 24 年 5 月 30 日

平成 23 年度事業報告（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

公益社団法人日本炊飯協会

## はじめに

千年に一度と言われる巨大地震、巨大津波の天災に見舞われ、更に東電福島第一原発事故の人災も加わり、かつて経験した事の無い悲惨な年でした。今年は東日本大震災の復旧、復興が最重要な課題と思います。当協会の今年度の最大の課題は「公益社団法人化」であり、平成 24 年 3 月 22 日に、内閣総理大臣より公益社団法人への移行認定を受け、4 月 1 日より公益法人として新たなスタートを迎えることとなります。当協会は、主な事業として、①炊飯 HACCP 認定事業、②ごはんソムリエ認定事業 ③ごはんサポートキャンペーン事業、④災害時緊急支援事業等、社会貢献度の高い公益目的事業を実施しました。平成 24 年度から公益社団法人として、同様の事業のさらなる充実をはかる所存ですので、関係各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。以上

平成 23 年度事業計画に基づき、下記の通り事業が展開された。

## 役員会

- \* 第 1 回役員会：平成 23 年 4 月 20 日（金）、参議院議員会館 B101 会議室にて開催。  
平成 22 年度の事業報告と収支決算の報告、定款変更案、役員改選について、それぞれ諮り承認された。
- \* 第 2 回役員会：平成 23 年 10 月 24 日（月）、東海大学校友会館 富士の間にて開催。  
平成 24 年度事業計画(案)及び収支予算案、定款変更案、入会金及び会費に関する規程、HACCP 審査員に対する対価基準規程、及び業務代行契約についてそれぞれ諮り承認された。

## 総会

- \* 平成 23 年 5 月 27 日（金）、銀座東武ホテルにて、第 17 回通常総会を開催。  
平成 22 年度の事業報告と収支決算の報告、定款変更案、役員改選について、それぞれ諮り承認された。15 時より懇親会に移り、主務官庁である農林水産省総合食料局の方々、関係団体の来賓の方々のご出席のもと会員企業と親睦を深めた。
- \* 平成 23 年 10 月 24 日（月）、東海大学校友会館 富士の間にて、臨時総会を開催した。平成 24 年度事業計画案及び収支予算案、定款変更案、入会金及び会費に関する規程、HACCP 審査員に対する対価基準規程、及び業務代行契約についてそれぞれ諮り承認された。
- \* 平成 24 年 1 月 21 日（金）、コートヤード・マリOTT銀座東武ホテルにて新年賀詞交歓会を開催。  
主務官庁である農林水産省総合食料局の方々、関係団体の来賓の方々に多数ご出席頂き、会員企業の方々と交流を深め盛會に終了した。新年賀詞交歓会に先立ち、HACCP 監査での新管理基準の設定と洗浄方法の改善の薦めの説明会を実施した。

## 《各事業報告》

1. HACCP 手法支援法の認定事業  
平成 23 年度の HACCP 認定企業は 4 社、平成 24 年 3 月末で計 66 社 82 ラインとなった。
2. 米飯加工品 HACCP 認定事業  
平成 23 年度の 2 社(JA あいち・小田急食品)認定を行い、認定社は 8 社となりました。  
22 年度までの認定社 6 社に対し実施状況確認(更新認定)を行った。
3. 米飯品位格付認定事業<ごはんランキング>  
認定テストは、6 月：13 社 16 検体、  
10 月：13 社 16 検体、  
2 月：11 社 14 検体  
年間 3 回実施し、延べ 37 社が参加した。
4. 食品衛生推進事業（斡旋物資）  
イソジンウオッシュの斡旋を開始したが、取扱高は減少し、前年比 95%のとなった。

## 5. 研修指導事業

- ・ HACCP 認定申請希望の企業 5 社に対して事前アドバイスをを行った。  
(静岡ライスセンター、食彩房、オークワ、高田食糧、丸仙製パン)  
また、平成 11 年～23 年度に施設・手法認定取得した 52 企業に対する一般衛生管理も含め HACCP 実施状況の確認(監査)を行った。
- ・ 平成 24 年 1 月 21 日、炊飯製品の衛生管理の徹底を図るため、改善策を周知させることを目的とし洗浄後の汚染状況について即座に判定ができる方法を導入するように HACCP 監査現場で洗浄度検査を加えることとしたため、洗浄方法の改善策を含めた説明会を開催した。

## 6. ごはんソムリエ認定事業

「第 6 回ごはんソムリエ認定試験」は平成 23 年 9 月 7～8 日に講習会及び食味試験を実施、炊飯協会会員をはじめ、農業者、米穀店、主婦、学生、行政機関等、さらに海外からの参加も含め、協会会員外の方々が 7 割以上となり、多彩な方々、107 名が受講され“米やごはんの知識”を研鑽した。

## 7. 広報事業

- ①第 15 回目となった「ごはんサポートキャンペーン」は、昨年と同様イベント件数を先着 100 件、ごはん量上限 100 kg として実施したが、利用希望のかたが多くあり結果として、実施イベント 88 件、参加者約 5 万 4 千人、ごはん使用量 5,171kg となった。  
炊飯協力会員社は 14 社。
- ②『ごはんタイムス』は、6 月・10 月・2 月の 3 回発行し、会員外約 350 社の炊飯業者、及び約 200 名のごはんソムリエ認定者へ贈呈配布した。希望された 38 (前年より 6 増) の図書館へ配布した。
- ③「米トレーサビリティ法案」、「放射性物質に関する情報」、「ボツリヌス菌食中毒対策」等、必要事項に解説をつけ 10 通の“通知文書”を作成し各会員へ知らせた。また食品業界関連の記事の切り抜き等をまとめて、月 1 回会員へ発送した。
- ④会員からの要望もあり、「取引慣行の実態調査」を実施し、正会員 66 社中 43 社から回答を得て、調査結果を平成 24 年 3 月 30 日に報告した。毎年、食品産業センターが行っている「取引慣行の実態調査」の結果とほぼ近い状況であった。

## 8. 緊急時救援物資供給補助金制度事業

- ・ 福島県双葉町から埼玉県加須市の旧騎西高校避難所に避難してきている約 500 人に対して船橋災害ボランティアネットワークが平成 23 年 12 月 9 日に行った炊出しに、協会としてサンフレッセの協力を得て、ご飯 100k を無償で提供する支援を行った。
- ・ 協会と会員合わせ 15 社が、東日本大震災支援活動に対し平成 23 年 12 月に、農林水産大臣より感謝状を頂いた。

## 9. 新規会員の勧誘

平成 23 年度の入退会はなかった。

平成 23 年度 (平成 24 年 3 月末) 正会員 67 社 賛助会員 20 社

## 10. 専門委員会の活動

### 【HACCP 審査委員会】

認定審査に伴う委員会 32 回開催した。

### 【他団体等セミナー】

(財)食品産業センター連絡協議会月例会議に参加等、他団体等主催による各種講演会に積極的に受講参加した。

## その他

- ・ 平成 23 年度分の炊飯量市場規模実態調査は、協会会員のみ「炊飯事業調査」として実施。
- ・ 「緊急連絡先一覧表」を作成し平成 24 年 3 月末に各会員に送付。

以上